

2022年度

# 医療安全対策委員会

# 活動のご紹介



私たちは、おひとり様安全管理者のためにも、情報発信を続けます。

令和4年度の検討例

## 01

### 暴言暴力、 ペイシエントハラスメントへの対応

- 現場のスタッフが我慢すぎないよう何がハラスメントなのかの教育が必要。
- ホワイトコールやコードイエロー等で応援要請し、大勢参集できる仕組みをつくる。
- 警察OBの採用により、防犯体制が強固になった。
- 対策の風化に注意!  
(防犯ブザーの電池切れ・防犯グッズをどこに片付けたか忘れたetc)

- 「さすまた」を使用するには訓練が必要。  
※奪われると相手の武器になることもある。

一人で立ち向かわないこと!

#### 取り組み



個人や医療安全管理者に丸投げするのではなく、  
組織として毅然とした対応が重要

- ・そのためのマニュアル整備もポイント
- ・医療メディエーターを機能させ、対話で暴言暴力を生まない活動も必要

## 02

### 説明書、同意書の工夫

- ① 説明、同意を行う範囲が明確か。
- ② 意思決定できない場合のルールや説明時の同席ルール、看護師が同席できない場合の対応などが明確か。
- ③ 書式は、診療情報管理部門などが中心となり、組織として統一を図ったか。
- ④ 説明後の患者の反応を記録しているか。
- ⑤ 自施設の「患者の権利」と符合しているか。

#### 取り組み

同意書	
<input type="checkbox"/> 手術	<input type="checkbox"/> 麻酔
<input type="checkbox"/> 検査	<input type="checkbox"/> 輸血
<input type="checkbox"/> 化学療法	<input type="checkbox"/> その他
上記に冠する説明を受け理解しました。同意します。	
日付	R5年2月29日
説明者	〇〇 〇〇
承諾者	△△ △△
同席者	□□ □□

▲病院機能評価受審時、S評価を受けた病院の取組みの一例

- 説明書と同意書を別にする
- 同意書の書式は1種類とし、手術、麻酔、検査、輸血などの項目を選択する形で網羅する
- 入院期間中に同一治療や検査を受ける場合、患者の立場で考えると、何度も同じ同意書の記載を求められる煩わしさがある
- 包括同意は有効であるが、その基準を明確にしておく必要がある
- 上記取組みを診療管理士主導で検討した

## 03

### 医療安全マニュアル体系 どうなってますか?

- マニュアルは、いつでもどこでも閲覧できることが大切。
- 電カルに搭載していれば紙媒体は不要?  
→どこに保管管理しているか職員に周知が必要。
- マニュアル改訂時、ページ番号の変更が大変!

#### 取り組み

バックアップも  
しっかり残す!

- 検索機能や分かりやすい見出しの色分けなどで使い勝手をUP
- タイムリーな改訂に備えページ番号は付けず項目番号で管理することで、改訂・追加の際にページの修正が不要
- マニュアルは、システムダウンした時に困らないようにバックアップが重要

